

平成二十四年  
いのち

生命の言葉

十二月

一日に生きることは  
一歩進むことでありたい

湯川英樹

裏面もご覧ください。

十二月  
生命の言葉

一日をただ漫然と過ごすのではなく、  
日々、前進することをこころがけたいも  
のである。

『最高の報酬——お金より大切なもの  
働く人の名言集』

湯川英樹 (ゆかわひでき)

一九〇七〜一九八一年。日本の理論物理学者。中間子理論などで原子核・素粒子物理学の発展に大きな功績をあげ、昭和二十四年、日本人として初めてノーベル賞を受賞した。京都大学・大阪大学名誉教授。理学博士。この言葉を湯川博士は必ず日記帳の最初の頁に書いていたという。

都鳥が群れ飛ぶこの季節 皆さまに神のご加護がありますように

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮